

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M343A104	中国語 (Chinese)					国際力強化科目群	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
	1	1	医学部先進医療科学科	後期	月1	日本語		単独					
担当教員	氏名 鈴木 晶 E-mail chenjing@nm.beppu-u.ac.jp 内線												
授業の概要	外国語を学ぶのは、聞くこと、書くこと、話すことである。「中国語」の授業は、「中国語」を学習した上で、さらに難しい語彙、文法を学び、一定程度の語彙及び文法をマスターした上で、会話の練習を行う。中国語による挨拶、自己紹介、買物などの場面を設定し、会話を学ぶ。この授業では中国語での簡単な単語とフレーズを理解し、使用することで具体的なコミュニケーションを行うことを目指す。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	異なる場面での挨拶を表現できる												
目標2	基本文法の学習できる												
目標3	会話の単語数を増やし、会話で表現することができる												
目標4	旅行用の会話ができる												
目標5	日常会話ができる												
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)								2	2	2	4		
授業の内容													
1	文法1 主語+動詞+目的語												
2	文法2 主語+動詞+人物+もの												
3	文法3 主語+動詞1+動詞2												
4	語彙1 日常会話に関する												
5	語彙2 日常会話に関する												
6	語彙3 旅行に関する言葉												
7	聴解1 買物の場面												
8	聴解2 郵便局												
9	聴解3 空港												
10	読解1 交通機関に関する標識												
11	読解2 観光案内図												
12	読解3 観光地												
13	会話1 病院												
14	会話2 タクシー												
15	自己紹介など												
ラーニング	A:知識の定着・確認	・発音のチェック発表してもらう。					工 夫 そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換	・作文の口頭発表をしてもらう。											
	C:応用志向	・授業中、グループやペアによる会話練習をってもらう。											
	D:知識の活用・創造												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	配布資料等の情報に応じて予習する(15時間)											
	事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する(15時間)											
	想定時間合計	30											
教科書	鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円、ISBN978-4-904006-22-1												
参考書	園田茂人編『日中関係史 1972 - 2012 民間』、東京大学出版会、2015年、ISBN978-4-13-023067-4												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	期末テスト	60%										
	小テスト	20%										
	発表	10%										
	授業の取り組みの姿勢	10%										
注意事項	特になし。											
備考												
リンク												
	URL											